

第三十八回宗像歌会

平成二十七年九月十九日(土)

自由詠

夢うつつの

鳥の声

肌布団を

引き上げて

もう 秋

玉田 久美子

題詠『台風』

昔 九州は

台風銀座だった

今 いたるところに上陸

日本列島が

台風銀座に

杉本 明美

“平和”にしては

見えないところで

泣いてる人が多すぎる

福島で 沖縄で

いや、日本中で

高原 美智子

国民の生命と暮らしを

守ると言うなら

防衛費でなく

毎年必ず襲ってくる

台風災害に備えて下さい

高原 美智子

茎から のつきり ひょっこり

花が咲く

彼岸花

おやおやと驚からされる

この季節

宮島 かつえ

台風一過

網戸の網が我家に漂着

何処の家どこぞと片付けた

後で気が付く

我が家の二階の網がない！

山本 香代

子供の頃の思い出

姉妹きょうだいで語れば

共有したり 知らなかった事

ジグソーパズル

埋め込むように 全容が

大槻 幸子

瞬く間 床上浸水

池のよう

屋根瓦飛び

家の中から青空が

忘れられない ルース台風

大槻 幸子

台風とは

ムクチの風

文字の印象から

あのすさまじい恐怖は

想像も出来ない

のぎた えいほ